

得能会長のまとめの言葉(概要)

総理自ら民生委員、児童委員の声を聞いていただき御礼申し上げます。

本日5月12日は、大正6年、岡山県の「済世顧問制度」が誕生した記念すべき日であり
ます。

全民児連では、毎年5月12日からの一週間を「活動強化週間」として全国の民生委員・児童委員23万有余が一斉にPR活動を展開しています。本日のこうした場を多くの方に周知、理解を深めていただく機会になれば地域住民の関係づくり、日頃の見守り、相談活動等を円滑に進めるうえで有効かつ大きな励みになると思います。

さて急速な人口構造や世帯構造の変化、地域社会の人間関係の変容などを背景に、地域の人々が抱える問題や生活課題は複雑多様化しました。特にこの数年は新型コロナウイルス感染症のまん延が地域住民の生活に大きな影響を及ぼし、また豪雨豪雪、地震などの自然災害が相次いでいます。その中で、さまざまな課題を抱えながら社会的孤立状態にある人の支援や子育て家庭の支援、災害時要援護者支援、そして悪徳商法被害の防止等々、社会の在り様や福祉課題が目まぐるしく変化しても、地域住民の身近な相談相手として、困りごとがある人に寄り添い必要な支援やサービスへの「つなぎ役」として活動しています。

「誰もが笑顔で安全に安心して暮らせる社会づくり」平成29年制度創設100周年記念の提唱全国スローガン「支えあう住みよい社会地域から」をもとに、委員の活動は厚生労働大臣から委嘱され、「誇り」と「使命感」が源泉であります。民生委員信条をむねに地域のセーフティネットとして活動の充実に努力してまいります。

これからも一層ご理解とご支援をお願いいたします。